

## 第 23 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会 幹事会議事録

- 1 招集通知年月日 2022 年 10 月 20 日
- 2 開催年月日及び時刻 2022 年 10 月 22 日(土曜日)  
9 時 00 分 ~ 9 時 40 分
- 3 開催場所 手稲溪仁会病院 溪仁会ビル 206 会議室
- 4 出席幹事名 大川原 舞、荻野達也、長内俊也、金 相年、高田達郎、  
野村達史、原口浩一、山崎貴明、和田 始
- 5 欠席幹事名 黒岩輝壮、久保田司
- 6 出席監事名 片岡 丈人
- 7 事務局等出席者 鈴木友唯
- 8 審議事項
  - 議案1 第 23 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会について
  - 議案2 第 22 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会収支報告
  - 議案3 日本脳神経血管内治療学会北海道地方会会計報告
  - 議案4 新幹事及び新監事について
  - 議案5 次々期会長について
  - 議案6 地方会メール及びホームページの運用について
  - 議案7 その他

### 開 会( 9 時 00 分)

定刻となり、代表幹事の野村達史幹事が議長として幹事会が開始された。

### 議案1 第 23 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会について

会長である高田達郎幹事より第 23 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会の概要が報告された。また、幹事会議事録作成のため、書記として手稲溪仁会病院脳神経外科秘書鈴木友唯氏が紹介され、同席を許可された。

### 議案2 第 22 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会収支報告

第 22 回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会会長の大川原舞幹事より収支について報告され、全会一致で承認された。

### 議案3 日本脳神経血管内治療学会北海道地方会会計報告

金相年幹事(脳神経血管内治療学会北海道地方会事務局)より地方会交付金 257,000 円の収入及び利息 17 円を加え、令和 3 年度は繰越金が 1,748,472 円であることが報告さ

れた。地方会交付金は令和3年3月に日本脳神経血管内治療学会より入金されているため、令和3年分となっていることが追加報告された。また、幹事会開催時のZoom使用料金について地方会運営費として計上する案が提案され、全会一致で承認された。野村達史議長及び数名の幹事より、地方会交付金についての提案があった。第22回学術集会より収支管理が地方会から独立したこと(それ以前は地方会事務局運営費と一括管理であった)、ハイブリッド方式の採用により学術集会運営費が高騰していること、関連企業のコンプライアンス強化により協賛金及び寄付金の収集が年々難しくなっていることから、地方会交付金が入金された時点で次学会長に入金する方法への変更が提案され、全会一致で承認された。また、事務局会計報告にも監事の承認を必須とすることが提案され承認された。

#### 議案4 新幹事及び新監事について

野村達史議長より新監事として 荻野達也幹事が任命され、承認された。新幹事として札幌禎心会病院脳神経外科原口健一先生が推薦され、全会一致で承認された。また、代表幹事及び監事の任期は2年であること、留任も可能であることが確認された。山崎貴明幹事より、地方会事務局に関して、事務局運営継続の繁忙さの緩和のため、2年間の持ち回り(3大学による)が提案された。各幹事より、事務局移行のデメリット(業務移行のトラブルなど)についての意見も出され、野村達史議長より代表幹事、監事改選時に事務局にも確認する会則変更が提案され、全会一致で承認された。大川原 舞幹事より、会則の日付について、変更日を含めて正確に記入されたものを作成するよう要請があった。

#### 議案5 次々期会長について

野村達史議長より次々期地方会会長候補として、新幹事となる札幌禎心会病院脳神経外科原口健一先生、地方会会長未経験で脳神経血管内治療学会指導医取得年の最も古い中村記念病院脳神経外科遠藤英樹先生が推薦され、原口先生、遠藤先生の順で依頼することが承認された。その後の地方会会長候補については、脳神経血管内治療学会指導医取得年、同一年の場合は卒業年度順とすることが提案され、全会一致で承認された。

#### 議案6 地方会メール及びホームページの運用について

野村達史議長より日本脳血管内治療学会北海道地方会事務局メールアカウントについて、アカウントがわかりづらく、当会からのメールであることがわからないことが多々あるため、わかりやすい独自のアカウントを取得することが提案され、全会一致で承認された。日本脳血管内治療学会北海道地方会会員のメーリングリスト運用について、大川原舞幹事より学術集会時の連絡などに問題があるとの意見があった(演題募集や募集延長の配信などは一旦事務局を通して行うことになりタイムラグが生じ、会の運営が難しくなるなど)。事務局としては、本会からの個人情報保護規定があり、簡単に提供することはできないとの回

答があった。大会長が学術集会運営のための利用であれば、適正使用の範囲ではないかとの意見があり、メーリングリスト運用方法についての見直しを検討することとなった。野村達史議長より、現在 m3.com で作成している当会のホームページを外部委託(基本的には学術集会運営とは分ける形で)での作成に変更する案が提案され、全会一致で承認された。その業者選定のための委員会発足することとなり、委員として、大川原舞幹事、山崎貴明幹事が任命され、全会一致で承認された。

#### 議案7 その他

長内俊也幹事より、長年、当地方会の運営等に貢献された飯星智史先生が埼玉医科大学医学部総合医療センター脳神経外科教授に就任されたので、北海道地方会としてお祝いを送ることが提案され、全会一致で承認された。長内俊也幹事より、議事録作成などのためボイスレコーダーを事務局備品として購入する提案があり、全会一致で承認された。

(閉会 9時 40分)

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

R4 年 11 月 18 日

議長 野村達史

議事録署名人 高田 孝郎

議事録署名人 和田 裕